

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

C-STEP4

K-STEP4

P-STEP4

つきたい力・ねらい

スクールAIで「深い振り返り」：AIからの「なぜ?」「どう活かす?」という問いかけを通じて、「楽しかった」「よくわかった」という表面上だけの振り返りから、より深い振り返りにする。

ロイロノートで「自分の現在地を見える化」：AIと話してまとまった考えを、ロイロノートのシンキングツール（「理解度」と「スッキリ度」の座標軸）に置かせる。自分の理解度を視覚的に整理させる。

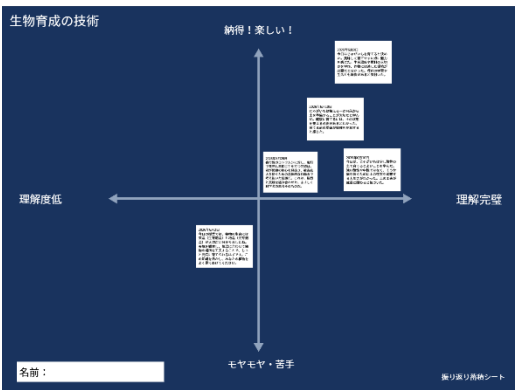
貯めて「成長を実感（メタ認知）」：毎時間の座標軸を貯めていくことで、単元の最初から最後まで「心の変化（モヤモヤからスッキリへ!）」を自分で振り返らせ、次の自学自習に繋げる。

指導の流れ

1. 授業の振り返りをスクールAIの振り返りサポーターに書き込む
2. 書き込んだ内容をもとに、AIから「なぜそう思った?」「次に活かすためにどうすればいい?」などの質問をされるため、それに答えていく。
3. ロイロノートのカードにコピー＆ペーストする。
4. ロイロノートのシンキングツール「座標軸」に、縦軸：理解度・横軸：スッキリ度で判断し、カードを適する場所に配置する。
5. 毎回の授業で、同じ流れで振り返りを貯めていく。

取組みを通しての子どもの変容

- ・ AIを使って振り返りを行うことで、それまで言語化が難しかった生徒が、学んだことをどう活かすのか、わからなかったことを次に理解できるようにするためにはどうすればよいのかなど、より深い振り返りができるようになった。
- ・ シンキングツールに理解度を可視化することによって、理解できなかった箇所からテスト勉強に取り組むなど、家庭学習に活かそうとする姿勢が見られた。



生徒が取り組んだ振り返りシート

スクールAIの振り返りサポーターの画面

取り組んでいる様子